

院長先生はもちろん、スタッフさん、ケアマネさんなど是非ご参加ください!

兵庫県保険医協会 尼崎支部 第104回医療と福祉を考える会のご案内

患者さんの経済的負担軽減のために! 知って得する 医療・福祉の役立つ制度

日時 2月17日(土)午後2時30分～4時30分

会場 尼崎商工会議所 702会議室

(尼崎市昭和通3-96 ☎06-6411-2251 阪神尼崎駅北側へ徒歩3分)

講師 神戸女子大学 客員講師 阿江 善春 先生

参加費 無料

「窓口負担が心配で受診を控えている」「障害者手帳の申請はどこに相談したらいいの」といった患者さんの声を耳にしたことはありませんか。医療費や介護サービス利用料の負担が軽減されたり、手当が受けられる公的制度について、患者さんに的確なアドバイスができることは、患者さんの生命と健康を守るために重要であることはもちろん、医療機関に対する信頼にもつながります。また、医療・福祉制度の仕組みについての知識は、医療機関だけでなく、地域の医療・介護を担う各職種の方々にも必要とされています。

一例として、特別障害者手当(月27,980円)を対象者でも受給していない方がおられます。障害者手帳の有無に関係なく、特別に介護を要する方が対象ということが知られていないことも一因です。昨年12月の尼崎市議会でも市民への周知が議論され、市当局は介護保険担当課での案内等を改善すると答弁しています。

今回は、医療機関で知っておきたい医療・福祉制度のポイントについてお話いただきます。

《 講師からのメッセージ 》

多くの国民にとって、いのちやこころ、くらしの安心と平安に関わる大切なものであるにもかかわらず、日本の社会保障制度は大変わかりにくく、複雑かつ利用しにくいものになっています。

「社会保障」と「社会福祉」それに「社会保険」と呼び名もまちまちですし、それぞれがいったいどのような内容の制度で、どこがその窓口なのかさえきちんと案内されません。

細かく言うと「高齢・障がい・児童の3福祉」に、生活保護などの「公的扶助」、「医療・年金・雇用・労災・介護」の5保険ということになります。

今回は「医学・医療」を起点に、これらの制度とのかかわりを具体的な事例を交えてわかりやすくお話しします。一人でも多くの患者さん・ご家族が安心して医療を受けられるために知恵と力を合わせましょう。 【阿江善春 記】

*お問い合わせは、兵庫県保険医協会事務局 ☎ 078-393-1805 沖野、石本まで
切り取らずにこのままFAXして下さい

【2/17 医療と福祉を考える会参加申込書 FAX 078-393-1802 兵庫県保険医協会 尼崎支部 宛】

氏名	職種	氏名	職種

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____

TEL _____ 担当者 _____ 様

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

437号

2024年1月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

新年にあたって

新年明けましておめでとうございます。

日々、地域医療に尽力されている先生方に心より敬意を表します。

旧年中は尼崎支部の諸活動にご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

まずはじめに、2024年1月1日に発生しました能登半島地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

医療に目を向けますと、医療費抑制政策の下、新型コロナ感染拡大、さらに物価高騰が直撃し、経営を取り巻く状況は悪化しています。また、岸田政権のもとでオンライン資格確認義務化、オンライン請求義務化、保険証廃止が強引に進められています。

尼崎支部では昨年8月に「健康保険証の存続を求める意見書提出を求める請願」を提出し継続審議となっていました。12月議会では十分な審議がされないまま否決されてしまいました。今年12月には保険証廃止が行われようとしています。医療現場でのトラブル噴出は必至です。引き続き尼崎支部会員からの声を集めて保険証存続を求める活動をしていきたいと思っております。

さらに今年は医療・介護・障害福祉のトリプル改定の年になります。今回の診療報酬改定は4月ではなく、6月に実施されますが、それは医療DX推進の準備を念頭に置くもので、私たち医療現場にいる者への配慮などには程遠い、国の医療政策の一端を垣間見るものです。

尼崎支部では下記の日程で診療報酬改定研究会の開催を予定しております。不合理制度是正のためにも、多数のご参加とご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

2024年もコロナ禍からの生活再建、医療再建を展望すると共に、諸先生方のご健康とご多幸をお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願ひ致します 支部役員一同



＜ 2024年診療報酬改定研究会日程(尼崎会場) ＞

医科 3月30日(土) 15時～ 会場:都ホテル尼崎2階 あやめの間
歯科 4月14日(日) 14時～ 会場:都ホテル尼崎2階 あやめの間

※日程の詳細は2月にハガキでお知らせします。

医療安全管理対策研修会 感想文

ガウンの着脱 楽しくレベルアップ



ガウン着脱のポイントを説明する小川看護師(写真右)、ペアになって実技内容を確認し合う参加者(写真左)

尼崎支部は11月11日、医療安全管理対策研修会「新型コロナウイルス感染症も含めた外来での感染対策～場面に応じた防護具の使用法～」を尼崎市内で開催。済生会兵庫県病院・感染管理認定看護師の小川麻由美先生が講師を務め、12人が参加した。神崎病院・検査技師の東口薫氏の感想を掲載する。

このたびの、新型コロナウイルス感染症も含めた外来での感染対策の研修では、医療現場での感染対策に沿った内容で、「なるほど」と思う点が多々ありました。

また、「手指衛生を行う5つのタイミング」では日常業務の忙しさもあり、手指衛生が非常に重要であることは、わかっているけれどもできないことがあり、改めて考えさせられる良いきっかけとなりました。

特にガウンの着脱の実習が楽しくて感染対策のレベルアップになりました。実習内容はガウンの前面と手袋に蛍光ローションを塗っておき、ガウンと手袋を脱いだ後にブラックライトで蛍光ローションの付着を可視化してみると、ほぼ全員の手が付着していて、服の上にも付着していたりと、簡単に見えるガウンの着脱が体験してみると、なかなか難しいことを実感しました。

またガウンの外側の中に丸め込むようにしてガウンと手袋をまとめて脱ぐのは少しテクニックがありますが、慣れればすごく合理的な方法だと思いましたし、1人ではなく2人一組のペアになってお互い確認し合って実習したことや、ガウンは親指を通す穴があるものを選ぶと、ガウンの袖がずり上がって感染するのを防止するのに役立つことなど、実習してみて改めて実感しました。ぜひ、当院でもガウンの着脱の実習をしてみたいと思いました。

最後になりましたが、今回のような非常に有意義な研修の機会を与えていただきありがとうございました。

【尼崎市・神崎病院 検査技師 東口 薫】

健康保険証の存続を求める請願が、12月市議会で否決に 議会で議論を打ち切る手法は許されない

協会尼崎支部が8月に尼崎市議会へ提出していた「健康保険証の存続を求める意見書提出を求める請願」が、12月市議会で否決された。請願に賛成した会派は共産党、みどりの未来、市民グリーンクラブ(一部)で、反対した会派は公明党、日本維新の会、蒼風会、青雲の会、市民グリーンクラブ(一部)。

11月8日の健康福祉委員会において、西藤彰子議員(青雲の会)が、山内道士先生(山内メンタルクリニック)の兵庫保険医新聞インタビュー記事に触れて医療現場での問題点を質問、これに対して山本直弘議員(共産党・請願書の紹介議員会派)が「直接(山内先生に)お聞きした上で答えさせていただく」と答弁していた。

そのため11月30日に山内先生が、山本議員・川崎敏美議員(共産党)に対して、精神科医の立場から電子カルテ情報の共有による診療上の危惧や不安等についてレクチャーを行った。

しかし、12月14日の委員会では、公明党議員が「12日に岸田首相が予定通り現行の健康保険証の発行を来年秋に終了すると述べたことを踏まえて、これ以上委員会で審議する必要はない」として採決を主張。山内先生のレクチャー内容が市議会で報告されることなく、また、「2日前に発表された政府の総点検内容をまだ読み込めていない」(みどりの未来)との議論があったにもかかわらず、否決された。

尼崎支部は、協会の調査でオンライン資格確認システムを運用する医療機関のうち64%がトラブルを経験していること、保険証廃止は国民皆保険の根幹を破壊する重大問題に発展しかねないことなどを指摘して、請願書の採択を各会派に要請してきた。

市議会でも様々な論点が出されている最中であるにもかかわらず、議論を打ち切る手法は許されないものである。

協会は、引き続き、衆参両議院議長あての「保険証廃止はありえない！」署名に取り組んでいます。まだ、止められます。先生方のより一層のご協力をお願いします。

署名用紙の注文は、電話078-393-1807まで。

第592回幹事会だより

12月7日(木) 於: わたや整形外科

○ 尼崎支部の会員数

12/1 現在 医科 379人、歯科 170人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策

病院勤務医対策、尼崎市議会へ提出した「健康保険証の存続を求める意見書提出を求める請願」の取り組み状況、今後の支部企画として医療と福祉を考える会について討議した。支部が加盟する渉外団体会費の執行が承認された。

○ 1月日程 1月25日(木) 14:00～ わたや整形外科(阪急塚口駅から徒歩10分)

お問い合わせはTel 078-393-1805 沖野・石本まで